

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2010年2月

コミッティ活動

Credit Derivatives / Operations: 担当難波(knamba@isda.org)

2月4日、Credit Derivatives Committee メンバーは、日本企業銘柄参照のクレジットイベントオークションの開催に先立ち、オークションの手法、流れと仕組みをテーマとした会合を開催した。当日はオークションのアドミニストレーターである Creditex 社と Markit 社が参加し、オークションの仕組みについてのプレゼンテーションを行った。

2月11日、ISDA は、2010 Second ISDA Japan Calculation Agent City Protocol のドラフトを回覧した。先の Japan Corporate Calculation Agent City Protocol の導入によって、既存の日本企業銘柄を参照とする CDS 取引のうち、CAC が現在の標準的取引慣行にマッチしないものに対する修正が可能となったが、本プロトコルは、その修正対象をより広範囲な取引 (iTraxx, Sovereign、その他ポートフォリオを含むがこれに限らない) へと拡大するもの。この新しいプロトコルの導入により、適用対象取引における CAC は「東京」を指定したとみなされる。コメントの締め切りは2月19日。

Collateral: 担当森田(tmorita@isda.org)

Japan Collateral Committee メンバーへ、年次サーベイである「東京市場における OTC デリバティブの担保化に関する市場調査」への協力を依頼した。サーベイは、東京市場のディーラー間及びディーラーとエンドユーザー間での担保の利用状況と管理方法など、東京市場で行われている慣行に関する情報の捕捉を目的としている。回答期限は3月12日。

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

2月5日、ISDA と Creditex 社、Markit 社は金融庁とミーティングを行った。ISDA は DC (決定委員会) の仕組みの概要についての説明を行い、オークションアドミニストレーターである Creditex 社と Markit 社は、オークションの仕組みの概要を説明した。

2月22日、ISDA は「主要行等向けの総合的な監督指針」、「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」の一部改正 (案) に対する意見書を金融庁に提出した。改正の目的は、契約締結時、取引契約開始後、顧客から苦情を受けた際のデリバティブ取引の責務を強化すること。ISDA は、各条項の明確化、意図の確認、指針の一部について実務上有効性等について意見を行った。

Accounting: 担当森田(tmorita@isda.org)

Japan Accounting Committee チェア、高塚 哲 氏が辞任、みずほコーポレート銀行、石川 正道 氏が後任として着任した。

Weather, Commodity & Developing Products: 担当森田(tmorita@isda.org)

2月2日、10日の両日、ISDA は、経済産業省 (METI) が主催する店頭商品デリバティブに関する勉強会にオブザーバーとして参加した。議題は日本の商品デリバティブ市場の発展を妨げる諸問題について。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Collateral PR/DRP Working Group

(日本語による会議)

3月10日

Risk Management Committee

(日本語による会議)

tbd